

やえせのみず"だ"より

8月

2021年

 八重瀬町の水環境を良好に保ちながら、地域の発展を目指すための協働プロジェクトの最新情報をお届けします。

八 重瀬の水環境について子どもたちと一緒に学ぶイベントを準備中！ (※夏休み期間中の実施予定をコロナウィルス感染拡大の影響で延期しました。)

このたび、八重瀬町教育委員会の後援をいただき、小・中学生を対象とした環境学習イベントを実施することになりました。夏休み期間中の「サマースクール」として計画していましたが、コロナウィルス感染拡大に伴う使用予定海岸閉鎖措置などの影響により、日程を延期することにいたしました。



恐れ入りますが、参加申し込みはすでに締め切っております。

延期後の開催日程：9月18日(土)、19日(日)、20日(月)、23日(木)

- ⚠️ 沖縄県の緊急事態宣言が9月12日で解除され、破名城海岸などの施設が使えるようになった場合、開催します。
- ⚠️ 緊急事態宣言が9月18日を超えて延長された場合、残念ながら今年度の開催は中止とさせていただきます。

「地域の自然のフシギを 発見🌟・科学🔍 する サマースクール 2021」

定員各 15名	発見プログラム (1~3年生)	科学プログラム (4年生~中学生)
9月18日(土)	天然素材クチャを取りに行こう！	クチャのミクロの世界
9月19日(日)	星砂を探せ！	有孔虫の観察
9月20日(月)	洞くつ探検に行こう！	溶ける石「石灰岩」
9月23日(木)	海岸の生き物観察	コドラート法で生物調査

本プログラムを通して、八重瀬町の子どもたちが水環境との関わりや、歴史文化をはじめとした広い地域課題への気づきを得るきっかけになればと考えています。



しんじょうりゅういち
新城竜一先生
総合地球環境学研究所
研究部教授
専門：地質、岩石、鉱物

担当：クチャをとりに行こう！、クチャのミクロの世界、溶ける石「石灰岩」



やまうちへいざぶろう
山内平三郎先生
NPO法人沖縄鍾乳洞協会
理事長
専門：洞くつ探検、調査

担当：洞くつ探検に行こう！



なかむらたかし
中村崇先生
琉球大学理学部海洋自然
科学科(生物系)准教授
専門：サンゴ生態学

担当：海岸の生き物観察、コドラート法で生物調査



ふじたかずひこ
藤田和彦先生
琉球大学理学部物質地球
科学科(地学系)教授
専門：地層、化石、サンゴ礁

担当：星砂を探せ！、有孔虫の観察

主催：八重瀬町×琉球大学 JST SOLVE for SDGs プロジェクト 実施団体：NPO 法人おきなわ環境クラブ

7月9日に、本プロジェクトメンバーと「おきなわ環境クラブ」は、「沖縄鍾乳洞協会」の案内により、プログラム二日目の洞くつ探検のフィールドとなる「ターガーガマ」の視察に行ってきました。ターガーガマは、入口は狭く奥は250mもある深い洞くつです。琉球列島特有の琉球石灰岩からなる鍾乳洞は、地表水・地下水の浸食によるつららのような鍾乳石と、それを伝って洞床におちた地点で成長する石筍(せきじゅん)が神秘的な様相を見せていました。沖縄各地にあるガマは、沖縄戦で多数の住民の避難場所や野戦病院として使用されてきましたが、ターガーガマは避難した8世帯全員が生き延びることができたガマとして、貴重な平和学習の場となっています。



琉 大生による「やえせ農的フィールドワーク 2021」

2021年5月から7月にかけて、琉球大学人文社会学部琉球アジア文化学科の学生が、「琉球民俗学」の授業の一環として、八重瀬町における農業と暮らしの変遷を学ぶフィールドワークを行いました。インタビューを行う際は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、健康管理の徹底や、距離をとって野外で実施するなどの細心の注意を払いました。環境や地下水保全に配慮した土づくりに取り組む農家さんや、大切に野菜を育てる農家さんを支える小売店さん、八重瀬町で取れた野菜を使った家庭料理を教えてくださいましたお母さん方など、多くの方からお話を伺いました。現在、学生たちの多くは、オンライン授業が続き、他人と直接会って話をする機会が失われています。そんな彼ら・彼女たちにとって、八重瀬町での野菜づくりを通じた環境保全やコミュニティづくりに携わる方々との対話は、多くのことを学ぶ貴重な機会となりました。現在、協力いただいた皆さまだけでなく、広く調査結果を公開できるように報告の場を準備しているところです。

(文責 琉球大学人文社会学部 高橋そよ准教授)



地 下水を主な水資源とする他の地域について学ぼう！

神奈川県 秦野市

秦野盆地は、神奈川県で唯一の盆地で、地下水を溜めておく「天然の水がめ（地下水盆）」となっています。そこには約7億5千万トンの地下水が蓄えられており、豊富な地下水がいたるところで湧き出しています。「秦野名水」は、名水百選の地としての誇りと、郷土愛によって培われてきた名水です。秦野市では、市民、事業所、行政が一体となって、この「秦野名水」復活に向けた取り組みをおこない、近年、市民共有の財産としての共通認識が定着しました。



秦野盆地を囲む丹沢山系



熊本県 熊本市

宮崎県 都城市

都城市は、水道水源、工業・農業用水として、その多くを都城盆地の地下水から利用しています。また、7本の一級河川と30余りの普通河川が注いでおり、豊富な地下水、湧き水に恵まれています。都城市では、宮崎大学と共同で、継続的な地下水環境のモニタリングを実施し市民への情報発信をおこなうとともに、事業者の協力も得ながら、地下水保全に向けた取り組みを展開しています。霧島山を中心とした霧島ジオパークのエリア内で、自然や文化を総合的に捉えています。



高さ40メートルの関之尾滝

熊本市は、人口74万人の水道水源のすべてを地下水で賄っている、世界でも希少な都市です。市町村の枠を超えて地下水保全の取り組みを行っていることが評価され、「2013 国連“生命の水”最優秀賞」を受賞しています。加藤清正による施策で開発された水田システムによって、豊かな水が地下に供給されるようになりました。天然のミネラルウォーターといっても過言ではないその水質は、水道局による厳しい検査によって管理されています。



阿蘇山の伏流水が湧出した池を中心に作られた水前寺成就園

プロジェクトに関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は、下記までお寄せください。

【発行】八重瀬町・琉球大学 JST SOLVE for SDGs プロジェクト事務局

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1

琉球大学亜熱帯島嶼科学拠点研究棟 担当：安元
Tel: 098-895-9131 (平日 13:00-16:00/ 会議やイベント等で離席することもあります。ご了承ください。)

Email: solveforsdgs@gmail.com

ホームページ: <http://mizunowa.skr.u-ryukyu.ac.jp/>

八重瀬町にも、破名城海岸などの海岸や、長堂川、饒波川、報得川、雄樋川といった河川、慶座地下ダムなど、わたしたちの生活をとりまく水環境が多く存在しています。環境に配慮しながら、産業を発展させていくためのしくみづくりを一緒に考えていきましょう！



やえせのシーちゃん